

す。

次に、賑わいある都市拠点の形成のための施策として、JR行田駅の駅前広場周辺再整備工事を実施するほか、新たに駅利用者のための自転車駐輪場を整備します。

また、中心市街地では、歴史的街路整備のほか、足袋蔵等歴史的建築物の改修活用事業や日本遺産構成資産の公開に向けた改修助成事業を継続するとともに、水城公園東側園地の再整備を実施し、まち並み景観の整備と賑わいの創出を図ります。

次に、地域資源などの活用による交流人口拡大のための施策としては、本市の観光協会を民営化し、多様な関係者の参画による観光地経営体を目指します。

併せて、本市の多彩な地域資源を生かした各種観光コンテンツの開発・強化を行うとともに、ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、情報発信やプロモーションを強化し、稼げる観光地づくりを推進するための事業を積極的に展開します。

また、産業交流拠点整備事業については、国土交通省が選定する重点道の駅候補に選定され、早期の整備実現を目指します。

このほか、日本遺産の魅力発信事業や「足袋のまち行田」活性化プロジェクトなどを継続するほか、田んぼアート米づくり体験事業の拡充や古代蓮の里でのバーベキュー施設の整備を実施し、さらなる交流人口の拡大を図ります。

### ●「その他の主な事業」

市制施行70周年事業では、市民提案事業やNHKの夏期巡回ラジオ体操をはじめ、各種記念事業を開催します。

学校再編事業では、統合対象校の児童同士の交流事業を定期的に実施します。

総合振興計画策定事業では、平成31年度から2年間かけて、本市の最上位計画を策定します。

### 【主な質疑】

#### ○市民意識調査

**問** 調査の目的と調査結果は市政に反映されるのか。

**答** 市民意識調査は、20歳以上の市民3000人の方を対象に、5年ぶりに実施する。

調査目的は、まちづくりに取り組む上で、市民が市政に対してどのような意識を持っているか、市政全般にわたる考えを聴き、その意向を反映させることである。

一例を挙げると、子どもの遊び場についての意見が多くあったことから、遊具を備えた公園併設型の子育て支援拠点をつつプラザあおいをオープンし、子育て環境の充実を図るなど、調査結果を活用し、市民の意向を反映している。

#### ○移住・定住プロジェクト

**問** コンシエルジュの役割と実績は。

**答** 昨年6月の移住・定住相談窓口の開設以来、移住・定住希望者に対してきめ細やかな相談対応を行うとともに、SNSなどによる情報発信や移住イベントへの出席、移住体験バスツアーの開催など、本市のPRを積極的に行ってきた。

1月までの8カ月間で約230件の問い合わせや相談があり、窓口への相談をきっかけに本市への移住を決めた方もいるなど、コンシエルジュ配置による効果が表れている。

なお、子育て世帯定住促進奨励金を活用して52世帯の方々が市外から本市に転入している。

#### ○観光協会補助金

**問** 補助金の具体的な内容は。

**答** 団体運営費に加え、観光協会の民営化をはじめとする各種事業費を補助するものである。

具体的には、DMO\*化の経費として、専門職員の雇用、観光地域づくり基盤整備のための各種研修会の開催、各種観光データの収集など、また、観光コンテンツ開発強化の経費として、特産品の充実、観光ガイドや忍城おもてなし甲冑隊の強化、新たなグルメやお土産物、体験型コンテンツの開発など、さらに情報発信プロモーションの費用として、各種観光情報の多言語化、海外向け情報発信、ラグビーワールドカップの開催に合わせたインバウンド誘客イベントの開催などを見込んでいる。

\*DMO：官民一体となった観光地経営体

#### ○JR行田駅駐輪場整備工事

**問** 駐輪場の整備時期と整備内容は。

**答** 現在の第2志里山町自転車駐輪場を拡張した約780平方メートルの敷地を舗装し、照明、転倒防止柵、フェンスなどの設備を設置するとともに、歩道を整備する。

これまでどおり無料の駐輪場として再整備し、平成32年1月の供用開始を予定している。

また、現在の仮設駐輪場は、平成32年度中に解体する予定である。



第2志里山町自転車駐輪場

#### ○放課後児童対策事業

**問** 施設改修工事請負費1081万1千円の工事内容は。

**答** 西小学校に新たな学童保育室を開設するための費用で、校舎内1階の図工室を学童保育室として改修し活用するものである。

工事内容は、出入口や床をはじめ、施設改修工事、給排水工事、電気工事及び外構工